

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 信州シキシマ					
代表者名	氏名	田淵 久司	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市大字笹賀5670番地2					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	食パン、菓子パン製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2581	2580	2189	2315	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5182	5180	4398	4667	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	1		1	1	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	0				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 30 年度		

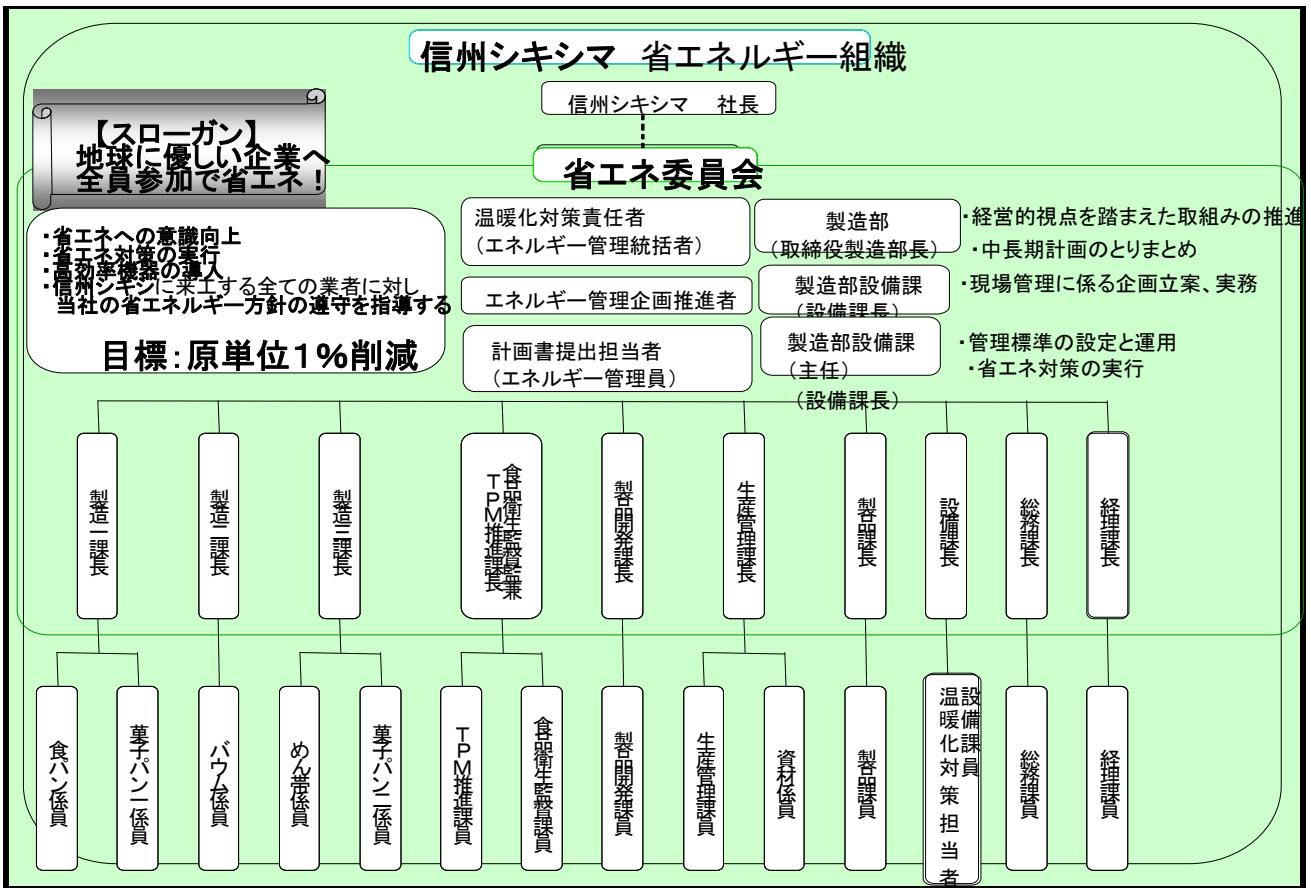
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	(株)信州シキシマ TEL0263-26-2939 担当 設備課 時間9:00～18:00
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

使用電力の削減
 燃焼設備の合理化
 省エネ機器への更新

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

敷島製パンとの省エネ連絡会議 (年4回)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,182	t-CO ₂	生産袋数	1,623.00	単位	百袋	
28年度	調整後排出量	5,162	t-CO ₂	基準原単位	3.19	t-CO ₂ /	百袋	
目標年度	目標排出量	5,180	t-CO ₂	目標原単位	3.00	t-CO ₂ /	百袋	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	0.03	%	目標削減率	5.95	%		
目標設定に関する説明	信州シキシマでの大規模なライン改修があり、先の事が不透明な為、最終年度と同等の値とした。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,398	t-CO ₂	生産袋数	1,693.47	単位	百袋	
	調整後排出量	4,377	t-CO ₂	原単位	2.60	t-CO ₂ /	百袋	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	15.12	%	削減率	18.49	%		
排出量等の増減理由	信州シキシマでの大規模なライン改修が始まった為。							
第二年度	排出量	4,667	t-CO ₂	生産袋数	1,926.00	単位	百袋	
	調整後排出量	4,645	t-CO ₂	原単位	2.42	t-CO ₂ /	百袋	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	9.93	%	削減率	24.13	%		
排出量等の増減理由	信州シキシマでの大規模なライン改修が終わり燃焼機器が減った為。							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	生産袋数		単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率※
年度	削減率	100.00	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320205ボイラー負荷管理及び効率管理	H29	10	H29	10
2	エネ起	320104燃焼設備の保全管理	H30	10	H29	10
3	エネ起	330201GHPの更新	H29	10	H29	10
4	エネ起	330208空調室外機の保全管理	H29	10	H29	10
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	20		21	22	
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満	1	5,182	1	4,398	1	4,667		
1,500kl未満								
合計	1	5,182	1	4,398	1	4,667		

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	
合計	1	1	1	0
自動車総数	1	1	1	
次世代車導入割合	100	100	100	

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率の把握 (100%)
公共交通機関の利用促進	該当なし
来客者の交通対策	該当なし
物流の合理化	配送車から荷物を搬入出する際はアイドリングをストップし排気ガスによるCO2削減を実施している。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	会社全体での省エネ啓発活動
第一年度実績	廃棄物の分別によるリサイクル化
第二年度実績	廃棄物の分別によるリサイクル化
第三年度実績	

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	会社全体での省エネ啓発活動・燃焼設備の合理化の実施	50
その他	生産ラインの効率化・設備更新にて、省エネ機器への導入 (H29年度)	